

## 令和 6 年度補助金採択団体 座談会での意見概要

### 1. 白井市市民団体活動支援補助金への意見

- ・補助金審査に係るプレゼンテーションが負担だった。
- ・一方で、補助を受けるための申請やプレゼンテーションはあって当たり前なので、特に辛くなかった、との声もあった。民間の補助金を申請するときの練習になったとの意見もあった。
- ・初年度に受けられる補助金額（現状上限 7 万円）は少なくとも良い。団体を設立したばかりなので最初から大きな金額を渡されても、何に使うべきかわからない。最初は少額の補助でも十分で、レンタルなど備品をお試しで使ってみて、2 回目の補助から、1 回目で使って良かった設備を購入できるのが良い。
- ・活動発展型の 2 回目・3 回目の補助率を高くしてほしい（現状 50%）。自己資金が潤沢でない団体にとって、残りの 50%が自己負担となると、本当に必要なものに支出したくとも難しく、補助を受けること自体が厳しくなる。補助上限金額については、少なくとも良い。

### 2. まちサポへの提案・要望

- ・まちサポで団体に貸し出すことのできる物品を持っているとよい。特に、多くの団体が使うものを持っているとよい。
- ・まちサポ登録団体が所有している備品をまちサポ側で把握しているとよい。一団体では、他団体の情報収集が困難。もし、まちサポが把握していれば、必要な物品を所有している団体がいるかをまちサポを経由して知ることができ、団体間の貸し借りがスムーズにできるようになるのでは？団体間の情報交換・交流の機会になり、新たな事業展開が図られるのではないか。
- ・まちサポ通信のチラシ配布先は、そのチラシの内容に関係のある団体のみにしてはどうか。自分たちの活動に関係のないものは団体内でも共有せずに結局捨ててしまっている。自分たちの活動について掲載がないものについては、メールなどの配信でも十分。